

組曲新聞

成長し「あい」をつなぎ、誇れる組曲を

十九代目広報部門発行

メリハリのある演奏を

太鼓部門にインタビューをしました。太鼓部門の目標はメリハリのある演奏をするために楽譜をしっかりと読み込んでリズムや強弱、休付を正確にすることです。

また、一度指摘されたところは繰り返さないよう努力し、当たり前のことを当たり前にできるように佐伯先生に指導していただいています。

頑張っている人は児玉君です。児玉君は他パートの架け橋になってくれたり、自分から積極的に皆を先導しているそうです。

全部門を、支えてくれる舞台演出

舞台演出の部門にインタビューをしました。

舞台演出の目標は、皆が安心安全に演じられる舞台演出をすることです。

全部門を支えられるよう日々努力しています

頑張っているところは、日々課題発見をすることです。

どうすれば解決できるのかをさがしています。

頑張っている人は、副リーダーの木崎君です

リーダーができないところも支えてくれる頼もしい副リーダーです。

舞台演出の見所を探してみてください。



いきをあわせて

太鼓部門、篠笛の目標は、出だしの音が小さいので、最初の音を大きく勢いを意識しています。

米とぎの構えのとき、出だしが揃っていないので揃えることを頑張っているそうです。

頑張っている人は、遠藤さんです。

遠藤さんは、積極的に練習に取り組んでいて、声かけをして皆を引っ張っていつてくれるそうです。

篠笛にご注目ください。

「華を咲かせる」をテーマに

太鼓部門、チャップパチャンキの目標は、笑顔で一つ一つの動きをそろえてきれいにすることです。練習するべきところを具体的に教えてくださる下和

田先生支えられ、日々頑張っているそうです。

頑張っている人は、矢野さんです。

矢野さんは、練習内容や直したいところを提案し、組曲をより良いものにしてきています。

組曲の華チャップパチャンキにご注目ください。

